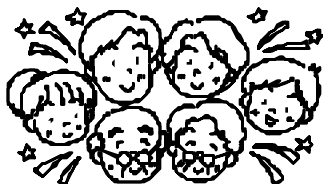


ヘルパーステーションだいとう だより

No.5 2004年4月発行



訪問介護の持つ力



ヘルパーステーションだいとう
所長 田中洋三

介護保険がスタートしてからまる4年が経過し、厚生労働省が「走りながら考える」と言ったこの保険も定着しつつありますが、皆さんの印象はどうでしょうか。一方、保険料の負担の年齢引き下げや利用料率のアップ、要支援や介護度1の利用者の一部切り離し、適正使用のためのチェックシステム構築、障害者支援費制度との合体などの様々な見直しが検討されています。この騒々しい様子を「走りながら考える」から「走りながら思いつく」の方針転換したと皮肉る一方で、厚労省は計算づくで周到に準備しているとも思えます。

私達がサービスを提供している訪問介護（ホームヘルパー）は、要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限り自分の家で、自分の能力に応じて自立した日常生活が継続できるように、入浴、排泄、食事介護その他の生活全般にわたる援助を行なうものです。ただ、措置から契約に移行するに当たり、制度の変更に伴って、それまでの柔軟さ（言い換えれば曖昧さ）が整理され、すこし紋切り型の仕事になったと思われるかもしれません。

生活に最も密着したヘルパーには生活そのものへの支援を期待される事が多いですね。長年生活して大事にされていた家を隅から隅まで手入れをしたい、家の庭の草も引いてきれいにして花や植木に水もやりたい、

大事なお客さんをちゃんと接待したい、今の自分にとって伴侶と言っても良いぐらいにかわいがっているペットを十分に世話してやりたい、大好きな美術館にも行きたい、毎日の血圧を測ったり座薬を入れたりインスリンの注射もしてほしい。そんな希望を自力で出来なくなった自分に代ってヘルパーにやってほしい。それらは日常生活を継続して行く上での当然の思いには違いありません。でも、介護保険のホームヘルパーは残念ながらやってくれません。理由は簡単で、ヘルパーは家政婦さんや家族とは違った視点からの業務の成り立ちで、これらのご希望は昔から話題になっているようにその業務は組み入れられておらず、「やらない」と決められています。

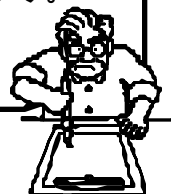


出来ないことを理由にヘルパーに不満を持たれるのは心苦しいところもありますが、私自身は利用者の方々がいきいきと生活してゆく上でヘルパーには出来ることが沢山あると考えています。私達のステーションをご利用の方々の多くは主体性を持って生活されており（自立した生活）、様々に自分らしさを発揮されています。そのような日常生活を継続されることをお手伝いする事はヘルパーの喜びです。ヘルパーの仕事は日々の生活に最も密着しており、訪問介護の力を利用して生活の質を上げてゆく、その事に視点を置いて、ケアプラン、援助計画を作ることが大事ではないでしょうか。出来ないことを補うのが仕事ですが、みんなの抱えるつらさの中に、常に希望を見いだしながら生活してゆくお手伝いが出来れば幸いです。



伝言板

利用者様の声、家族介護等の日常のエピソード、俳句・短歌・川柳・詩・挿絵・制作作品の写真等々ありましたら掲載いたしますので御協力の程宜しくお願いします。



ヘルパーミーティング

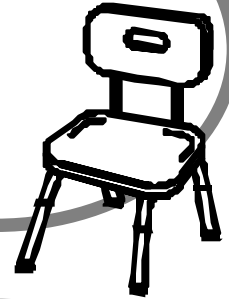
福祉機器(用具)

11月23日(日)ヘルパーミーティング時に、福祉機器(用具)についてグループワークを行いました。一言で福祉機器(用具)と言っても種類がたくさんあり、ヘルパー自身も機能を充分理解する必要があります。

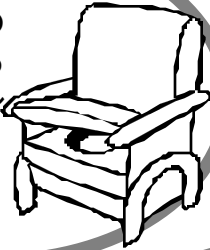
そこで、12月13日(土)にゴトウ・アス・プランニング様へ、福祉機器(用具)を見に行き、体験してきました。

入浴の時にそのまま利用できるシャワーキャリー

浴槽内で利用する椅子

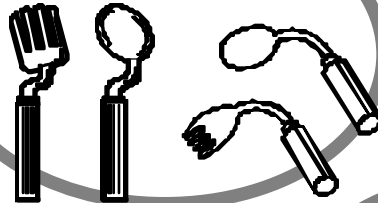


消臭機能の付いているポータブルトイレ



座椅子にもなり椅子にもなる高さ調節のできる椅子

自助具



リハビリシューズは片方ずつ購入できる

移動用スロープ・段差解消機



車椅子も個々の
身体状態に合わせて
色々種類があり
ます..



ヘルパーは介助す
る事はあっても、
体験する事はなか
なかないです..

見て...

「アズ・プランニング」様に於いて介護用品
を借られるのか、購入出来るのかを再確認
して試してみることが出来ました。ケアマネさ
の介護度に合わせ、介護用品を選び、より良
いヘルパーにリレーされております。いくら優れ
方法が分らなければヘルパー失格！と、一生
懸命です。

ヘルパーは介助する事はあっても、体験する事はなかなかないです..

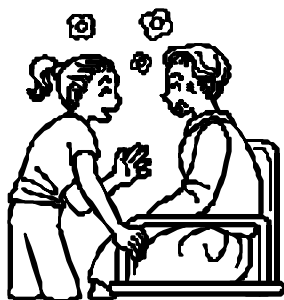
ヘルパーは介助する事はあっても、体験する事はなかなかないです..

ヘルパー 柴田多美子

* 次回のヘルパーミーティング特集は「痴呆の接し方」について掲載する予定です。

介護の現場

コミュニケーション上手に!



何気ない言葉や振る舞いで利用者を傷つけたり不快感を与えてしまうことがあります

利用者との適切な距離を保つことを心掛けて訪問しています

思考・動作・会話など利用者のペースに合わせてるようにしています

ヘルパー自身(プライベート)の事を話す事は控えるようにしています

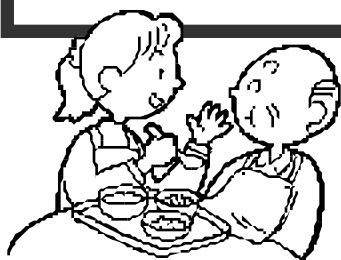


利用者の方々には長い生活があり、その習慣やリズムがしっかりと刻み込まれていますので、そのリズムを乱さずに一歩退いて援助する事を心掛けています。孤独感を訴えられたり今まで出来た事が出来なくなってきた時の不安は想像以上にあると思われます。自分自身が年を重ねた時、同じ事を思うでしょう。話を聞く時は同じ目線で耳を傾け、ありのままを受け止め、共感・共有し、不安が少しでも緩和されると良いと思っています。とはいえ、話の共通点が見つからず、声掛けする事に戸惑いや沈黙があったり、何気なく言った「～して下さいね」などの言葉の語尾が強く、不快感を与えてしまう事もあるようです。気を付けていきたいところです。利用者の方々が長い人生を生きてこられた誇りを尊重し、尊敬の念を持って接していきたいと思っています。

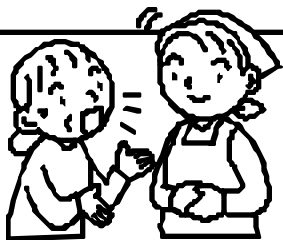
ヘルパー 黒田政美

私が利用者の方と接する時に心掛けている事は、まず作業に取り組む前に利用者の方と挨拶や会話を交わしつつ、その方の顔色や表情、いつもと違う所がないかなど観察する事です。当たり前と言えば当たりの事なのですが、意外とこういうごく普通の事を見逃しがちなのではないかと思います。確かに与えられた仕事を一生懸命こなす事も大事ですが、ちょっとした挨拶や会話を交わす事によって、病気などの早期発見や、利用者の方が抱えている悩みなどを見つけれられるかもしれません。そして、その会話の中でも相手の事を考えた言葉遣いや目線や表情、共感的態度をもって接する事で、より良い関係を築く事ができると思います。

このような一つ一つの心掛けが、これからのいい介護につながればいいなと思います。
ヘルパー 和田茂美



話し上手ではなく聞き上手になるように心掛けています



ある訪問先では、身寄りがなく一人で生活しているため、生涯在宅で過ごせたらと望んでおられます。足が弱く、外出は困難、まだら痴呆はあるが金銭的な事はしっかりされています。他県より転居して10年。腰を据えて住居内での移動、玄関先又は勝手口まで出るのみです。人との出会いは殆ど無く、毎日寂しい日々を過ごされています。気が強くて頑固な所もありますが、いろんな問題、悩みを一人で背負っておられます。

利用者とは、常に接する折、共有共感を持ち、その人なりの気持ちになり、精神的心の傷、不満等を少しでも癒し、納得するまで話を良く聞いて上げ、聞き上手になれる様心掛け、精一杯努力し努めたいと願っています。

ヘルパー 栄浪良子

<分かり易く説明するための心掛けとして>

早口で話さないようにしています

専門用語はできるだけ使わないようにしています

一度に理解するのは難しいのでいくつかに分けて説明しています

事故 ヒヤリ・ハット!

当事業所では、介護の現場に於いて発生した「ヒヤリ・ハット」や「事故」の報告を受け、できるだけ迅速に対応し、今後、重大事故につながらない為に要因を調べ、対策を考えています。平成16年3月までの、ヘルパーステーションだいとう「ヒヤリ・ハット」「事故報告書」集の統計です。些細な事でも「ヒヤリ・ハット」と認識し、今後、スタッフの意識改善と、サービスの質の向上に、努めていきたいと思っております。

事故 <身体介護>

①訪問 14件

遅刻・時間の間違い・道に迷う

③食事介助 5件

摂取中に咽せ込む

⑤整容 2件

爪切りにて指を傷つけた

⑦移乗介助 1件

利用者を勢いよく座らせてしまった

②入浴介助 6件

シャワーや浴槽内の温度調節ができていなかった

④オムツ交換 4件

陰臀部洗浄時のお湯の温度がぬるかった

オムツ交換に戸惑って時間がかかり恥ずかしい思いをさせてしまった

⑥外出介助 2件

外出中に体調不良になった

事故 <生活援助>

①掃除 6件

物・家具を壊す障子を破く

②調理 3件

皿を割ってしまった
鍋を焦がしてしまった

②買い物 3件

買い忘れがあった
卵を割ってしまった

③その他 1件

布団干しの際、ジョウロに引っ掛かり濡らしてしまった

ひやり・ハッと

< 身体介護 >

① 外出介助 7件

老人車・車椅子が
段差に引っ掛かる

② 入浴介助 6件

足元が滑りふらついた

③ 移乗・移動介助 5件

立ち上がり・歩行
時にふらついた

④ 痴呆者への対応 4件

外出時目を離した
時に他の人につい
て行った

⑤ オムツ交換 3件

ヘルパーか利用者の体
がベッドのコントロー
ラーに当たり動く

⑥ 服薬 1件

飲みこぼしがあった

ひやり・ハッと

< 生活援助 >

① 掃除 2件

破損しそうになった

② 調理 1件

噴きこぼれ

事故・ヒヤリ・ハッと!

・ 私たちの基本理念 ・

私たちは日常生活の支援を通してその人がその人らしくあることを守ります。

ヘルパーステーションだいとう

〒670-0962

姫路市南駅前町66番地 戸田ビル2階

TEL 0792-23-5009

FAX 0792-23-5019

介護保険事業所番号 2874000876

